

# 平成31年度予算編成に対する 予算要望書を提出



平成30年10月26日

市民の皆様の安心・安全な生活、福祉向上のため、加藤市長へ最重点事項212項目をはじめ、計349項目にわたる予算要望書を提出しました。  
平成31年度予算要望の主な内容と、平成30年度予算要望で実現した主な事項についてご紹介します。



## 総務部会

後列左から  
寺沢さゆり 西沢 一  
前列左から  
宮崎 治夫 山本 晴信



### 平成31年度予算要望の主な内容

**総務部** 公共施設等総合管理計画に基づき、将来人口推計等を踏まえ、市域全体のバランスや地域特性等に考慮した個別施設計画を策定すること。

**企画政策部** 長野県立大学を始め市内大学等については、地域との連携により中心市街地を始めとする地域活性化が図られるようを支援するとともに、本市の新たな活力となるよう産官連携に積極的に取り組むこと。



▲長野県立大学後町キャンパス

**財政部** 社会保障費関係経費や新たな市政課題、多様化する市民ニーズに基づく財政需要は拡大の一途にある。新年度予算の編成にあたっては、事業の「選択と集中」を徹底し、第5次総合計画に則りつつ、本市が抱える喫緊の課題に対応するための「YOBOU」事業に予算を重点4配分すること。

**生活部** やまざと振興計画、過疎地域自立促進計画等を積極的に推進するとともに新たな活性化策を積極的に検討し、地域活力の低下しつつある中山間地域活性化及び再生に向け取り組むこと。

**消防局** 年々増加傾向を続けている救急需要に対し、迅速・的確に対応し、救命率の向上と後遺症の軽減を図るため、高規格救急自動車の更新、また、救急ワークステーションの運用及び救急隊員の資質向上を図ること。

### 平成30年度予算要望で実現した主な事項

**総務部** 長野市地域防災計画に沿って、防災情報システム整備事業等防災体制の推進が図られました。また、国及び県が公表した想定最大規模降雨を反映した洪水ハザードマップの作成が行われています。

**企画政策部** 人口増進推進本部を中心に総合戦略を検証し、人口減少対策を総合的に推進しています。「長野市移住・定住相談デスク」を設置し、移住・定住相談員を1名増の3名を配置することにより、各種相談窓口のワンストップ化の強化を図るほか、首都圏を中心に積極的に移住相談会が開催されました。

**財政部** 本格的な人口減少社会の到来や少子・超高齢化の進展に伴い、税収の減や社会保障費の増大など一般財源の確保が不可欠です。そこで安定的な財政運営を図るため、国に対し働き掛けが行われました。

**生活部** 各部署及び各地域の住民自治協議会と連携し、「第二次やまざと振興計画」に基づき中山間地域の振興や暮らし続けられる環境の整備に取り組んでいます。

**消防局** 各種災害発生時の初動体制に万全を期すため、高機能消防指令情報システムの機能が、常時安定して発揮できるよう努めています。



▲消防局 高機能消防指令情報システム

## 経済文教部会

後列左から  
中野 清史 岡田 荘史 松田 光平  
前列左から  
つげ 圭二 市川 和彦



### 平成31年度予算要望の主な内容

**農林部** ①地域の核となる優れた農業担い手の確保・育成を推進するとともに、「人・農地プラン」を活用し、耕作放棄地の解消、担い手への集積などに努めること。  
②野生鳥獣対策の積極的な推進と支援の拡充を図り、併せてジビエ振興のため加工処理施設の活用を推進すること。  
③森林資源の利活用のため、搬出間伐などを拡大し、森林整備を推進すること。

**農工観光部** ①地域経済の活性化、雇用の確保を図るため、各業界及び企業との連携や周辺自治体との連携を図りながら必要な対策や支援を行うこと。  
②東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客（インバウンド）の増加が見込めるため、関係自治体等と連携し、海外に向けた誘客戦略を構築すること。

**文化スポーツ振興部** ①長野市芸術館で、市民の活発な文化芸術活動が行われ、市民が優れた文化芸術を鑑賞できるよう、指定管理者である長野市文化芸術振興財団と連携して事業を実施すること。  
②2027年長野県で開催予定の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、大会後も市民のレガシーとして残るような競技の開催と施設整備を検討すること。

**教育委員会** ①子どもの個性を伸ばす教育を行うため、活力ある学校づくり検討委員会の答申や特別委員会の提言を踏まえ、将来の児童・生徒数の推移を念頭に、子どもを第一に保護者や地域とも協議し、学力向上を目指し、自主性・自律性を尊重した特色ある教育・特色ある学校づくりを進めること。  
②老朽化や劣化が進む校舎・体育館について、改築や長寿命化を進めるとともに、普通教室等へのエアコンの設置やトイレ改修等を進め、学校教育の環境整備を図ること。

### 平成30年度予算要望で実現した主な事項

**農林部** ①平成30年度から「親元就農者支援助成金」が創設されました。この助成金の創設により、認定農業者の農家子弟のUターン帰農が促進され、農業の活性化と人口の社会増につながる事が期待されます。  
②平成30年度、中条地区に（仮称）長野市シビエ処理加工施設が整備され、31年度にオープンします。捕獲されたイノシシ・ニホンジカを有効活用し、新たな地域資源として中山間地域の活性化につながる事が期待されます。

**農工観光部** ①長野の企業と首都圏の学生や社会人をつなげる場である「ナガノのシゴト博」が、社会人を対象として昨年10月に開催されました。  
②交流人口の増加に向けた外国人を含む観光客の誘客として、初開催となった「善光寺表参道イルミネーション」が11月24日から12月24日まで行われ、多くの人で賑わいました。

**農工観光部** ①長野市芸術館をホームグラウンドとする合唱団として「ジュニア合唱団」が発足され、ハンド練習室等の利用率が向上するなど、市民が芸術館を身近に感じる様々な取り組みが行われました。  
②本市が誘致したデンマーク競泳チームによる東京オリンピックの事前合宿が、11月に初めてアクアウィングで行われ、市内小中学生との交流も行われました。



デンマーク競泳チームと市内小学生との交流▲

**教育委員会** ①第二次長野市教育振興基本計画における学校教育分野の実施計画である「第二期しなのきプラン」の取組が平成30年4月から始まり、重点取組のひとつである「確かな学力の育成」の中で、新たに中学校2学年でも標準学力検査（NRT）が実施され、中学校における指導改善サイクルの構築が図られてきています。  
②国が指定する重要伝統的建造物群保存地区に選定された戸隠地区では、伝統的建造物等を適切に保存整備し歴史の町並みの維持向上を図っており、平成30年度には補助金を活用して4件の保存事業が実施されました。



国の指定を受けた戸隠の重要伝統的建造物群保存地区における町並み▲

## 福祉環境部会

後列左から  
小泉 栄正 小林 治晴 野本 靖  
前列左から  
高野 正晴 手塚 秀樹



### 平成31年度予算要望の主な内容

**保健福祉部** ①災害に備え避難行動要支援者の避難支援対策について適切な対応を図ること。また、福祉避難所の収容人数の確保を進めるとともに、災害発生時に速やかな開設、周知が行える態勢の構築を図ること。  
②高齢者が知識や経験を活かし、社会において元気に活躍できるように、地域活動の場の提供や就労支援の充実を図ること。  
③国が推進する国民健康保険制度改革の方針に基づき、県とともに責任を持って財政の健全化による持続可能な制度運営に努めること。

**こども未来部** ①「長野市子ども・子育て支援計画」において設定した教育・保育提供区域ごとに、必要利用定員総数に対応した教育・保育の提供体制の確保を図ること。  
②国が新年度10月からの実施を目指している「教育・保育の無償化」について、電子システム改修や利用者・運営事業者への周知等、体制の整備を含め準備に万全を期すこと。

**環境部** ①更なる再生可能エネルギーの有効活用、省エネルギーの推進を図るため、市有施設へ太陽光発電システムの導入、照明のLED化など省エネ機器設備への更新等を積極的に進めること。  
②長野広域連合の「ながの環境エネルギーセンター」の管理運営については、広域連合と連携し、万全を期すこと。  
③環境学習を充実させ、市民の環境保全意識の高揚を図るとともに、「ESD」「SDGs」について、理解が深まるよう周知・啓発すること。

### 平成30年度予算要望で実現した主な事項

**保健福祉部** ①子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を断ち切るため、生活困難世帯等の子どもに対する学習支援について、特に高校進学を控えた中学2、3年生を重点に実施するなど、拡充が図られました。  
②妊娠前から子育て期にわたる母子支援強化のため保健センターに配置する専門の母子保健コーディネーターの2名増員や、産後うつ等の予防や新生児への虐待予防等を図るため産後健康診査事業の実施など、「なかの版ネウボラ」の充実が図られました。



ネウボラの健康診査▶

**こども未来部** ①発達支援あんしんネットワーク事業では、保育園等に訪問し、発達に支援を要する園児に関し指導・助言する「こここ園訪問」や、「地域発達支援会議」、外部講師による研修会などが実施されました。また、発達に支援を要する子どもの受診や療育の経過を記録し、子どもの情報を繋げるための「はぐくまファイル」について、更なる利用促進を図り、乳幼児期から就学まで切れ目のない支援が行われました。  
②結婚応援ポータルサイト「ご縁ながの・ココカラ」による情報発信力の強化、結婚セミナーや社会人ライフデザインセミナー「N-カジ」の内容の充実などにより、結婚支援の取り組みが更に推進されました。

**環境部** ①市民・来訪者の安全と快適な生活環境を守るため、歩行喫煙を禁止する条例が施行され、環境美化意識向上に向けた各種啓発活動が実施されました。  
②長野広域連合の「ながの環境エネルギーセンター」について、平成31年3月の本格稼働に向けて、確実に事業が推進されました。  
③奥裾花自然園に太陽光、小水力、バイオエーゼル発電による電力供給システムが完成し、無電化地域の解消とともに、再生可能エネルギーの活用が図られました。



ながの環境エネルギーセンター▶

## 建設企業部会

後列左から  
若林 祥 小林 義直  
前列左から  
三井 経光 北澤 哲也



### 平成31年度予算要望の主な内容

**建設部** ①中山間地の狭隘路線の拡幅整備を推進するとともに、市域の円滑な移動を可能とする道路網の整備推進を図ること。  
②空き家対策の推進にあたり、適切に管理されていない老朽危険空き家等への対策や空き家の適正管理、利活用及び空き家化の予防などの施策を総合的かつ計画的に進めること。  
③五輪大橋及び日高トンネルの無料化とエムウェーブから五輪大橋までの4車線化の事業推進を県及び関係機関に強く働きかけること。

**都市整備部** ①県の城山公園内信濃美術館建て替え計画にあわせて、城山公園が市民及び観光客の憩いの場として一層親しまれる施設になるよう計画的かつ適切に整備を図ること。さらに、城山公園一帯においては、都市の貴重な緑地空間の保全を図るとともに、広域的な文化・芸術・レクリエーション・防災等の機能が一体となった再整備を図ること。  
②市民の移動手段を確保するため、更に自家用車に依存せず環境負荷の少ない暮らしに転換するためにも、住民自治協議会等と協働し、生活バス路線の維持及び交通空白地帯・交通不便地域におけるバス等の運行の充実を図ること。また、ICカードKURURUの普及を図るとともに、他社交通機関ICカードとの連携を早期に行う関係機関に働きかけること。

**上下水道局** ①老朽施設の計画的な更新により、出水不良及び赤水の解消・有収率向上に努めるとともに、地震などの自然災害に強い施設づくりを推進すること。  
②下水道管渠への雨水など不明水の浸入防止対策を推進するとともに、建設部と連携を図り、雨水渠の整備を推進し、浸水被害の防止に努めること。

### 平成30年度予算要望で実現した主な事項

**建設部** ①「長野市公営住宅等ストック総合活用計画」に基づく全面改善事業の実施にあたり、市営住宅返戻団地の全面改善修繕事業（450,090千円）が行われ、エレベーター設置やバリアフリー化により、高齢者や障がい者の利用に配慮した住環境の整備が進みました。



▲市営住宅返戻団地

②小学校通学路沿いのブロック塀調査をはじめ、危険ブロック塀などの所有者等に対し、行政指導を進め、除去費用の一部を補助する制度の拡充が図られました。

**都市整備部** ①市街地開発事業等の制度を活用し、公共施設の整備改善及び街なか居住の推進を図り、健全な市街地整備に努めるため、県庁緑町線線沿線地区・セントラルスクエア整備（430,497千円）が進みました。



▲ブロック塀調査

②JR篠ノ井駅と長野電鉄長野駅の内外線点状ブロック設置及び、しなの鉄道北長野駅のエレベーター整備に対し、県と協調して補助（18,578千円）を進め、バリアフリー化の推進が図られました。

**上下水道局** ①上下水道老朽管解消事業によって管路の更新及び耐震化を行い、出水不良及び赤水解消が進むとともに、地震等の災害に強い管路整備が進みました。  
②今後、更に老朽管が増大していく中、年間20億円を確保し、将来の水需要を見据え適正な管径で計画的な解消事業の促進が図られました。（老朽施設更新事業：2,101,870千円）



▲老朽管更新工事